



かたびら

可児市立帷子小学校
学校だより
第4号

「わかった できた つながった」笑顔と元気を生み出す学校 R4 7. 1

笑顔のもと「3つのよく」観る・聴く・考える



笑顔のもと・夢・希望を宇宙に

校長 井戸 勇治

帷子小学校は1873年に創立され、150周年の節目を迎えました。鎖国が終わり江戸から明治になり、新しい学制が発表されたときから帷子小学校の歴史が続いています。

こうした折に、「こども宇宙プロジェクト」からお誘いがあり、子ども達の笑顔を夢や希望とともに宇宙に届けたいと思いプロジェクトに参加することにしました。

プロジェクトの概略は、

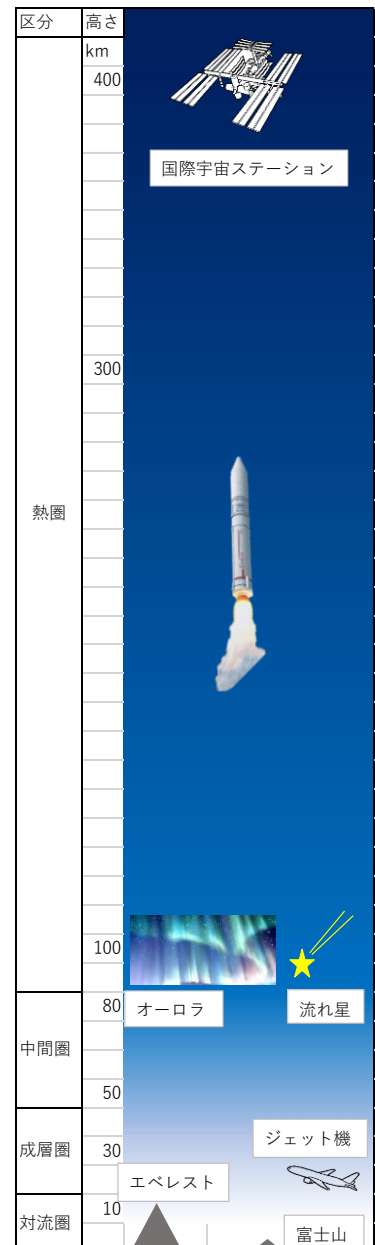
- ・一人ずつ、笑顔のもと・夢・希望を用紙に書きます。
- ・各自が用紙を手にもって、学級ごとで集合写真を撮ります。
- ・全国から集められた学級写真の1枚1枚をモザイクアートのピースにして1枚の絵が作られます。
- ・絵はアメリカ航空宇宙局NASAへ届けられ、ロケットに積み込まれて、国際宇宙ステーションに運ばれます。

ロケット打ち上げは、2023年6月とまだ先ですが、今年中に学級写真を撮影していく予定です。

さて、先ごろ引退を表明された宇宙飛行士の野口聡一さんが、「どんなに悩んで苦しんでも、時間しか解決してくれない問題というものはあるものです。じたばたしても状況を悪くするだけということも多い。だから無闇に問題を解決しようとせず、日々やらなければいけないことをコツコツとやっていくしかない。」と語っています。

わずかなミスが命取りとなりかねない宇宙空間で長い間お仕事をされてきた野口さんならではの達観した言葉だと思います。

今回のプロジェクトで子どもたちがどんなことを書いてくれるのかがとても楽しみです。そして、夢や希望を叶えるためには、野口さんのように、今できることを、そして今だからできることを地道に積み重ねながら取り組むことが最も目的地にたどり着く最速の道であることを伝えていきたいと思っています。



※JAXA ホームページ参照